

## 2. 江戸川区の子育て支援に関する課題

### (1) 課題やニーズの特徴からみる施策の方向性

#### POINT

- ★ 働きながら子育てしていくことを支援するサービスの充実
- ★ 家庭養育者を主なターゲットとした、不安や悩みなどの解決、子育て支援策の充実

- ・ 母親の就労の有無等による子育て状況等に関する違いが明らかになった。
- ・ 例えば、母親が就労している場合は、子育てのストレスや悩みが総じて低い、サービスや施設などへの評価が低く、サービスや施設などの更なる充実を求めていることがわかった(91、99、181頁)。
- ・ 一方では、子育てのストレスや悩みは母親が働いていない場合、つまり家庭で養育している場合に多いことが明らかになっている(91、99頁)。(これは、家庭養育者の場合、子どもの年齢が小さいことも影響している)
- ・ 自由回答などを見てもわかるように、サービスや施策に対する要望・意見は比較的明確化されやすいが、育児不安や悩みなどの課題は、個別性もあって、その程度や内容(深刻さ)はなかなか表面化してこない課題である。
- ・ 今後は、働きながら子育てしていくことを支援するサービスの充実も必要ではあるが、同時に、働いていない、低年齢児を持つ家庭養育者を主なターゲットとした、不安や悩みなどの解決、子育て支援策の充実を図る視点が欠かせない。

#### POINT

- ★ 核家族世帯が直面しやすい不安や悩み、子育て課題の解決

- ・ 上記と同様に、今回の調査では世帯形態による子育て状況等に関する違いも明らかになった。
- ・ 結果を概観すると、二世帯世帯やひとり親世帯は、三世帯世帯にくらべて不安や悩みを多く抱えており、支援者がいないなどの課題にも直面していることが明らかになった(91、99、74、76、80、82頁)。
- ・ 子育てをしている家族の約8割は二世帯世帯であり(39頁)、二世帯世帯が直面しやすい不安や悩み、子育て課題にアプローチしない限り、子育て支援充実の底上げにはつながらない。